

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 27 年 1 月 29 日 (2015.1.29)

【公開番号】特開 2013-142962 (P2013-142962A)

【公開日】平成 25 年 7 月 22 日 (2013.7.22)

【年通号数】公開・登録公報 2013-039

【出願番号】特願 2012-2114 (P2012-2114)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/048 (2013.01)

G 0 6 F 3/0488 (2013.01)

G 0 9 G 5/00 (2006.01)

G 0 9 G 5/14 (2006.01)

G 0 6 F 3/041 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 3/048 6 5 5 B

G 0 6 F 3/048 6 2 0

G 0 6 F 3/048 6 5 6 A

G 0 9 G 5/00 5 1 0 H

G 0 9 G 5/00 5 3 0 T

G 0 9 G 5/14 A

G 0 9 G 5/00 5 5 0 X

G 0 6 F 3/041 3 3 0 C

G 0 6 F 3/041 3 8 0 C

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 12 月 9 日 (2014.12.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

タッチパネル機能を有する表示部と、

前記タッチパネル機能を有する前記表示部に対するタッチ操作に対して所定の機能を実行するための操作部が表示される操作部表示領域であって、

可变的に操作部が表示される可変操作領域と、

前記可変操作領域に表示可能な操作部が固定的に表示される固定操作領域と、

前記可変操作領域に表示されている操作部を、当該表示されている操作部とは別の機能を実行するための操作部に切り替える機能を実行するための操作部である切替操作部が表示される切替操作領域と、

を有する操作部表示領域を含む画像を前記表示部に表示する制御部と、
を備える情報処理装置。

【請求項 2】

前記制御部は、前記可変操作領域と前記固定操作領域との間に前記切替操作領域を配置することを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記制御部は、前記固定操作領域に表示される操作部の登録を受け付けることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記制御部は、前記可変操作領域に表示される操作部の並び替えを受け付けることを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

すなわち、本発明の一側面に係る情報処理装置は、タッチパネル機能を有する表示部と、前記タッチパネル機能を有する前記表示部に対するタッチ操作に対して所定の機能を実行するための操作部が表示される操作部表示領域であって、可变的に操作部が表示される可変操作領域と、可変操作領域に表示可能な操作部が固定的に表示される固定操作領域と、前記可変操作領域に表示されている操作部を、当該表示されている操作部とは別の機能を実行するための操作部に切り替える機能を実行するための操作部である切替操作部が表示される切替操作領域と、を有する操作部表示領域を含む画像を前記表示部に表示する制御部と、を備える。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

上記構成によれば、情報処理装置の表示部に表示される画像には、所定の機能を実行するための操作部が表示される操作部表示領域が含まれる。この操作部表示領域には、可変操作領域と、固定操作領域と、切替操作領域とが含まれる。可変操作領域には、可变的に操作部が表示される。固定操作領域には、可変操作領域に表示可能な操作部が固定的に表示される。切替操作領域には、可変操作領域に表示されている操作部を、表示されている操作部とは別の機能を実行するための操作部に切り替える機能を実行するための操作部である切替操作部が表示される。